令 和 7 年 三 重 県 議 会 定 例 会

医療保健子ども福祉病院常任委員会

説　明　資　料

頁

【 所 管 事 項 説 明 】

1　指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和６年度分）　1

令和７年１０月１６日

病　院　事　業　庁

１　指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和６年度分）

＜県の評価等＞

施設所管部名：　病院事業庁

１ 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県立志摩病院（志摩市阿児町鵜方1257）
指定管理者の名称等	公益社団法人地域医療振興協会　理事長　藤来靖士　（東京都千代田区平河町 2-6-3）
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 14 年 3 月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	・診療等に関する業務 ・利用に係る料金の収受等に関する業務 ・手数料の徴収に関する業務 ・施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務 ・その他志摩病院の管理上必要と認める業務

２ 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R5	R6	R5	R6	
１ 管理業務の実施状況	B	B			・一般病床、地域包括ケア病床及び精神病床を運用し、地域の医療機関からの紹介患者の積極的な受入れ等、地域の医療ニーズへの的確な対応に加え、救急診療においても内科系救急で 24 時間 365 日の受入れ体制を維持するなど、地域の中核的な医療機関としての運営を行った。
２ 施設の利用状況	B	B			・地域人口の減少や新型コロナの影響等により、外来患者数及び救急患者数は前年度より減少したものの、地域の医療機関との連携や地域包括ケア病床の効果的な活用などにより、入院患者数は前年度より増加した。
３ 成果目標及びその実績	C	C			・患者満足度は成果目標を達成したが、その他の指標は成果目標を下回った。 ・経常収支比率は、新型コロナにかかる国の交付金が皆減した一方で、心臓カテーテル検査・手術などの新たな取組や効率的なベッドコントロールなどによる診療単価の向上のほか、職員数の減による給与費の減等により、前年度と同程度となった。

※「評価の項目」の県の評価　：　「＋」（プラス）　→　指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「－」（マイナス）　→　指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「　」（空白）　→　指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	・令和6年度においても、地域の中核病院として、幅広い疾患に対応できるよう診療体制の維持に努め、地域医療の確保が図られた。 ・成果目標については、5項目のうち患者満足度を除く4項目で目標を下回っているものの、1日平均入院患者数は前年度より改善し、経常収支比率は前年度とほぼ同程度となっている。 ・新型コロナの影響が継続している現状もふまえ、引き続き、指定管理者による的確かつ十分な要因の分析と対策の実施が必要である。

＜指定管理者の評価・報告書（令和6年度分）＞

指定管理者の名称：公益社団法人地域医療振興協会

1　管理業務の実施状況及び利用状況

（1）管理業務の実施状況

①　三重県立志摩病院の管理運営事業の実施に関する業務

・令和6年度の病院運営は、医師 26 名（常勤医 20 名、初期研修医6名）の診療体制でスタートし、業務の効率化を図りながら、診療機能の維持・充実及び地域医療への貢献に努めた。

・入院診療では、2次救急病院として救急患者や紹介患者を受入れるとともに、回復期機能である地域包括ケア病棟（3・6病棟、72 床）を継続して運用した。また、心臓カテーテル検査・手術などの新たな取組を開始するとともに、令和7年1月に患者支援センターを設置し入退院手続き等のワンストップ支援体制を構築した。

・外来診療では、地域人口の減少や新型コロナの影響等により患者数は減少傾向にある中、医療機能の役割分担促進のため病病・病診連携を推進するなど、地域医療支援病院としての役割を果たした。

・救急医療では、内科系は 24 時間 365 日患者の受入れを継続して実施している。外科系では体制に応じて、日中（8 時 30 分～17 時）に加え、月・水・木・金の準夜間（17 時～22 時 30 分）の受入れを実施した。

・災害拠点病院として、大規模災害を想定して災害対策本部の設置、情報伝達、負傷者受入などの実働訓練を実施した。また、災害備蓄用品の点検・追加購入や消防訓練も実施した。

・地域医療支援病院として、1次医療を担う地域医療機関との患者の紹介・逆紹介の推進、入院加療や救急患者の受入れ、専門外来の診療、医療機器の共同利用、地域の医療関係職員の研修などを実施した。

・健診事業では、地域内の企業等に対する広報活動を積極的に行い、健診件数が前年度より増加した。

②　施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

・建物（一般病棟、管理・検査棟、精神病棟）は、築後 30 年以上が経過し、建物や設備の老朽化が進み、経年劣化による損傷や腐食等も多く発生し、維持管理や修繕に係る経費が増大している。

・令和6年度は、病院事業庁が放送設備改修工事等を実施し、病院側で空調機等の修繕等を実施した。

・医療機器については、病院事業庁により計画的に更新されているが、耐用年数を超えている機器も多く、適切な修繕により長寿命化に努めている。

・診療材料や医療消耗品については、定期的にSPD（物品物流管理）委員会において使用状況を把握しながら定数管理するとともに、薬品については後発薬品への切替えを積極的に行い、経費削減に努めた。また、協会本部とも情報を共有し、経費削減に向け各種点検を行った。

③　施策への配慮に関する業務

・志摩市間崎島への巡回診療を月2回（内科系・外科系）実施し、島民に受診機会を提供した。また、へき地医療支援機構（事務局）として代診医の派遣調整を実施した。

・新興感染症の発生・まん延に備えて県と締結した医療措置協定等に基づき、必要な病床を確保できる体制を維持した。

・オンライン資格認証システムを令和3年度に導入し、マイナンバーカードを健康保険証として利用できる環境を整えている。

・女性が働きやすい医療機関として、引き続き女性の就労環境等の改善に努めている。

・省エネルギー対策（電灯のLED化等）に取り組んでいる。

・思いやり駐車区画を正面玄関付近と立体駐車場に設け、適正な利用について啓発を実施している。

④　情報公開・個人情報保護に関する業務

・関係法令に基づいて規程を整備するとともに、個人情報管理責任者を配置して、医療情報等の適切な管理を行った。

⑤　その他の業務

・地域の医師会、介護・福祉施設、関係団体等と顔の見える関係を築くとともに、地域の中核病院として、地域の住民や医療関係機関を対象に各種研修会等を実施した。

・令和5年6月より、サイバーセキュリティ確保のために、サイバー攻撃対応用の事業継続計画（BCP）の策定を行うとともに、全職員を対象に年1回のサイバーセキュリティ研修及びサイバー攻撃対応BCPに基づく訓練を実施している。

・患者や来院者のサービス向上を目的に院内 Free Wi-Fi の環境整備を行い、令和6年12月より提供を開始した。

（2）施設の利用状況

	R5	R6
1日平均入院患者数	169.2 人	172.4 人
1日平均外来患者数	247.6 人	243.5 人
1か月平均救急患者数	358.2 人	332.2 人

2　利用料金の収入の実績

	R5	R6
入院収益	2,227,266 千円	2,284,282 千円
外来収益	822,089 千円	798,964 千円
その他医業収益	83,268 千円	93,862 千円

3　管理業務に関する経費の収支状況　（単位：円）

収入の部			支出の部		
	R5	R6		R5	R6
指定管理料	620,094,000	604,963,000	事業費	4,280,186,186	4,134,958,362
利用料金収入	3,132,623,215	3,177,107,648	管理費	62,922,000	63,804,000
その他の収入	251,067,786	90,258,290	その他の支出	5,944,119	8,773,519
合計（a）	4,003,785,001	3,872,328,938	合計（b）	4,349,052,305	4,207,535,881
収支差額（a）－（b）	△345,267,304	△335,206,943			

※参考

利用料金減免額	－

4　成果目標とその実績

成果目標	1日平均入院患者数　206　人／日 1日平均外来患者数　307　人／日 1か月平均救急患者数　500　人／月 経常収支比率　98．5　% 患者満足度　95．0　%
成果目標に対する実績	1日平均入院患者数　172．4　人／日　（R5実績：169．2人／日） 1日平均外来患者数　243．5　人／日　（R5実績：247．6人／日） 1か月平均救急患者数　332．2　人／月　（R5実績：358．2人／月） 経常収支比率　92．0　%　（R5実績：92．1%） 患者満足度　96．5　%　（R5実績：97．2%）
今後の取組方針	・志摩地域の中核病院として、当院が保有する医療資源を最大限に活用しながら地域住民への安全かつ良質な医療サービスの提供に引き続き努めていく。 ・医師確保については、引き続き、指導医、専門医の確保に努めるとともに、総合診療科医による幅広い疾患の受入れや専門医との連携により医療の充実を図っていく。内科系の救急患者の受入れについては、24 時間 365 日の受入体制を今後も継続していく。 ・収支の改善に向けては、病院を取り巻く環境の変化を分析しながら、関係機関等と連携し積極的に患者を受け入れるとともに、診療の幅を拡げるなど収入の確保を図っていく。

5　管理業務に関する自己評価　　※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	評価		コメント
	R5	R6	
1　管理業務の実施状況	B	B	・他の医療機関との連携強化等により昨年度より多くの紹介患者を受け入れ、安全・安心な医療を地域に提供した。また、入院患者の在宅や介護施設への復帰に向けた医療を行う地域包括ケア病床 72 床を継続的に運用し、長期間入院加療できる病床として地域住民の医療ニーズに応えた。 ・救急医療においては、救急受入体制を確保・継続した。なお、脳疾患や心臓疾患等の重症患者については、ドクターヘリと連携し高次機能病院へ搬送する救急医療ネットワークを担った。 ・地域医療支援病院としての役割を果たすとともに、感染症への対応、災害医療等地域住民に安心で効率的な医療サービスを提供した。 ・施設・設備の老朽化等への対応や高額な医療機器の更新については、県と連携を密にし、計画的な導入に努めた。
2　施設の利用状況	B	B	・入院医療では、一般、地域包括ケア及び精神病床を運用することにより、救急搬送患者や地域の医療機関からの紹介患者の受入れ等、地域の医療ニーズに的確に対応し、前年度を上回る 62,923 人の患者を受け入れた。 ・外来診療では、地域人口の減少や新型コロナの影響等により患者数は減少傾向にある中、59,173 人の患者を受け入れた。 ・救急診療では、内科系において 24 時間 365 日の受入れ体制を維持するとともに、外科系においては体制に応じて受入れを行った。
3　成果目標及びその実績	C	C	・1日平均入院患者数については前年度実績を上回ったものの、目標を達成できなかった。 ・1日平均外来患者数及び1か月平均救急患者数については、前年度実績を下回り、目標を達成できなかった。 ・経常収支比率については、前年度と同程度となり、目標を達成できなかった。収入面では、地域人口の減少や新型コロナの影響等により、外来収益は減少したものの入院収益は増加し、事業収益は増加した。費用面では、委託費等の経費は増加したものの医師や看護師等の退職等により給与費が減少し、事業費用は減少した。その結果、経常損益は 335,207 千円の赤字となり、新型コロナにかかる国の交付金 141,991 千円が皆減したものの、前年度から 10,060 千円改善した。 ・患者満足度ついては、前年度実績を下回ったものの、目標を達成した。

※評価の項目「1」の評価　：　「A」 →　業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」 →　業務計画を順調に実施している。
「C」 →　業務計画を十分には実施できていない。
「D」 →　業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」、「3」の評価　：　「A」 →　当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」 →　当初の目標を達成している。
「C」 →　当初の目標を十分には達成できていない。
「D」 →　当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	・令和6年度も、業務の効率化を図りながら診療機能の維持・充実を図り、志摩地域の中核的な医療機関として、地域医療への貢献に努めることができた。 ・成果目標については、地域の人口減少や新型コロナの影響により達成が困難な状況が続く中、5項目中1項目の達成にとどまったものの、病院の経営努力により1日平均入院患者数は前年度より改善し、経常収支比率は経常損益の改善により前年度と同程度となった。 ・築後 30 年以上が経過し、建物や設備の老朽化が進み、維持管理や修繕に係る経費が増大していることから、今後も県に情報提供を行いつつ、対応を要請していく必要がある。

（参考）指定管理者による志摩病院の運営状況

≪①　診療科別医師数の推移≫

（10年間）

県直営 → 第1期指定管理 → 第2期指定管理 →

（単位：人）

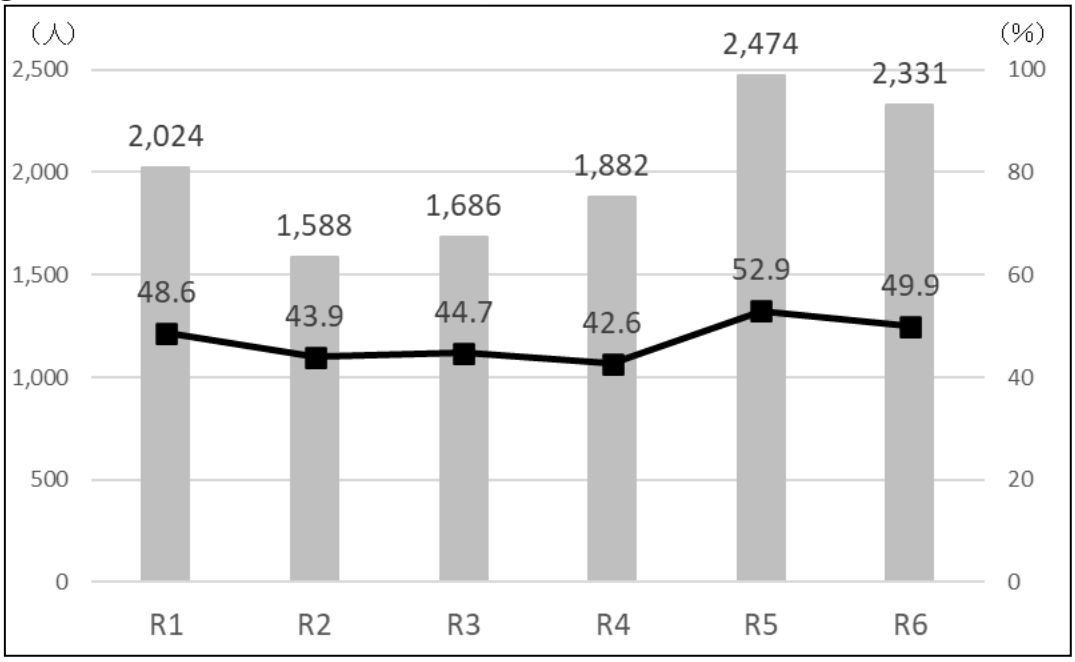
診療科等	H24.3	H24.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	R7.4
内科および救急・総合診療科	5	7	11	10	10	8	8
外科	3	4	4	5	5	3	2
整形外科	3	2	2	2	3	2	2
脳神経外科	1	1	0	0	0	0	0
眼科	1	1	1	1	1	1	1
産婦人科	0	0	0	0	1	1	1
小児科	0	0	1	1	0	0	0
皮膚科	0	0	1	1	0	0	0
漢方内科・漢方皮膚科	－	－	－	－	1	1	1
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1
精神科	3	3	2	2	2	2	2
放射線科	1	1	1	1	1	1	1
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0
小計	20	22	24	24	25	20	19
初期研修医	1	2	6	6	7	6	6
合計	21	24	30	30	32	26	25

≪②　患者数の推移≫

（単位：人）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
入院患者数	71,082	63,041	61,291	60,648	61,938	62,923
外来患者数	71,133	61,819	61,655	62,800	60,169	59,173

≪③　志摩市消防本部からの搬送者数及び全体に占める割合≫



棒グラフ：搬送者数
折れ線グラフ：全体の搬送者数に占める志摩病院への搬送割合

≪④　指定管理者会計の決算の推移≫

（単位：百万円）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
①事業収益	3, 207	2, 932	3, 092	3, 153	3, 146	3, 190
医業収益	3, 122	2, 847	2, 997	3, 058	3, 049	3, 083
入院診療収益	2, 261	2, 052	2, 185	2, 221	2, 227	2, 284
外来診療収益	861	795	812	837	822	799
その他事業収益	85	85	95	95	97	107
②事業外収益（交付金・補助金等）	604	1, 835	2, 347	2, 016	858	682
収益計（①＋②）	3, 811	4, 767	5, 438	5, 169	4, 004	3, 872
③事業費用	4, 038	4, 072	4, 467	4, 555	4, 343	4, 199
④事業外費用	9	7	7	6	6	9
費用計（③＋④）	4, 047	4, 079	4, 475	4, 561	4, 349	4, 208
経常収支	▲236	687	964	608	▲345	▲335

※　四捨五入のため、合計や差引が合わない場合があります。

≪⑤　県からの交付金の交付状況≫

（単位：百万円）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
政策的医療交付金 （指定管理料）	559	581	594	590	620	605
政策的医療交付金 （追加交付）	－	－	－	－	92	（※）
特例措置交付金 （看護師等への現給保障）	2	0	0	－	－	－
経営基盤強化交付金 （赤字補てん）	236	0	0	－	－	－
地域医療確保交付金 （特定診療科への赤字補てん）	－	－	－	0	231	（※）

※　R6 の交付金の額については、指定管理者と協議中です。